

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅱ-4-1 子育て環境の充実
---------	------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	青少年家庭課子ども・子育て支援室長 河原 賢	電話番号	0852-22-6071
----------	------------------------	------	--------------

事務事業の名称	保育所等整備支援事業		
目的	(1) 対象	保育を必要とする児童及びその家庭	
	(2) 意図	必要な保育を受けられるよう保育所の整備を図る	
事業概要	保育所等の整備（創設、増改築、改修）を行う。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	保育所入所児童数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			式・定義	10月1日現在の保育所入所児童	目標値		22,200	22,650	23,050
			実績値	21,868	22,497	22,873	22,983		
			達成率		101.30	101.00	99.80		%
指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
		目標値		0.00	0.00				
		実績値	0.00	0.00	0.00				
		達成率		0.00	0.00			%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	512,479	1,355,307
うち一般財源(千円)	0	0

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成26年度整備状況
保育所創設 1箇所
増築・増改築 4箇所
改築 4箇所
大規模改修 3箇所
定員増 65人

6. 成果があったこと（改善されたこと）

保育環境の改善、安全性・快適性の向上を図ることができた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
保育所の定員は増加しているが、保育需要も増加しているため、松江市・出雲市を中心に依然として待機児童が発生している。
- ②困っている状況が発生している「原因」
共働き等の家庭環境による保育需要の増加など。
- ③原因を解消するための「課題」
少子化の中でも保育需要は伸びており、今後も待機児童解消に向けた取り組みが必要。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

長期的な保育ニーズに留意しながら、市町村の実態に応じた形での保育所整備の支援を進める。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）